

2024年度沖縄平和行進参加報告書

関東地本東京支部

飯竹 和則

今回、2024年度沖縄平和行進に5月17日から20日に参加させて頂きました。この年齢での参加になった為、体力的に不安は感じていました。しかしながら基地問題等沖縄での問題を肌で感じたく参加させて頂きました。

1日目は5・15沖縄平和行進全国結団式・「三単産行進団結団式」が行われました。結団式では5・15平和行進の主旨を理解する為沖縄の歴史から紐解いて頂き、解決すべき課題を講演され「沖縄と連帯する意義」を理解致しました。2日目は実際に「5・15平和行進」を行いました。我々全港湾は南ウイングの7.5kmを半日かけ行進致しました。行進前から右翼の街宣車による妨害が行われましたが、切れ目なく行われたシュプレヒコールやレンジャー隊に寄り添って頂き、声を上げながら行進が出来ました。途中、沖縄国際大学のヘリ墜落事故現場の横を行進しました。直ぐ横に住宅が密集している中、しかも放射性物資が積載された大型ヘリが墜落・炎上した事実は、基地がなくなる限り、平和に生活出来ない事を実感致しました。行進は無事完歩出来き、「県民集会」への参加致しました。その後「旧海軍司令壕」視察を行い、沖縄地本主催の「青年部BBQ」で交流を深めました。3日目は「ひめゆり資料館」「平和祈念公園」「嘉数高台」「嘉手納道の駅」「辺野古基地工事」を視察し、沖縄戦の悲劇や米軍基地の現状を体感できました。

現在の観光地としての沖縄は、過去は戦争による悲劇、現在は基地による平和に生活ができない問題により成り立っていることを感じました。今後組合活動により少しでも助力できるよう続けていきたいと思いました。

最後に今回の日程全てにおいてお世話になりました沖縄地本の皆様有難うございました。